

1. 件名：福島第一原子力発電所における建屋滞留水処理等に関する面談
2. 日時：令和5年6月14日（水）13時30分～14時50分
3. 場所：原子力規制庁 6階会議室
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

竹内室長、岩永企画調査官、佐藤管理官補佐、安部室長補佐

東京電力ホールディングス株式会社

福島第一原子力発電所 汚染水対策プログラム部 担当者4名

プロジェクトマネジメント室 担当者 1名

5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、 α 核種による汚染拡大防止対策に関する検討状況として、1号機原子炉建屋内の滞留水の性状分析状況及び α 核種除去設備の設計状況について、資料に基づき説明があった。
- これに対して、原子力規制庁から以下の点を指摘した。
 - ・建屋内滞留水処理について、他の対策との関係も踏まえて方策を検討すること。
 - ・建屋内滞留水の性状分析について、滞留水深さとサンプル採取位置との関係を示すこと。
 - ・フィルタ閉塞の要因分析を引き続き進め、対策を検討すること。
- また、原子力規制庁から、本件については上記の点も含めて今後の特定原子力施設監視・評価検討会において説明することを東京電力に求め、東京電力から了解した旨の返答があった。

6. 資料

- 建屋滞留水処理等の進捗状況について

以上